

『論究憲法』

(A.A.・20代・学部生)

自分自身が学部で憲法ゼミに所属しており、日々憲法に触れていることからより深い学習がしたいと思ったことが、本書に興味をもった理由です。著名な学者の方々や実務家の方が基本的に一人一論文執筆しておられます。また、題名に「憲法の過去から未来へ」とあるように、過去の最高裁判例を再考察するほかに、これからより注目を浴びるであろう憲法問題について(例えば表現の自由とヘイトスピーチや個人情報保護法制など)も詳細な考察がなされています。

「論究ジュリスト」誌で書かれた論文を集めて本にした形なので一つひとつの論文が基本書に書かれている内容より深化したものとなっているため、私はゼミの予習や、判例の読み方や最新の議論などを深く知るために読みました。

個人的に普段から憲法の基本書や論文を読んでいるためか、各論文の分量には少し物足りなさを感じるころもありました。しかしながら、どの論文もエッセンスが凝縮されており読むたびに新たな発見があります。脚注も多く、クロスリファレンスも充実しているので、気になった部分は元の論文や判例に当たることも容易です。

憲法好きな方も憲法嫌いな方も一読の価値ありな書籍となっていると思います。

『法学教室』2017年9月号(No.444)掲載「Reader's Voice」より